

平成28年度 学校関係者評価実施報告書(まとめ用)

学校番号	38	学校名	清水南高等学校・同中部	記載者	小川 出
------	----	-----	-------------	-----	------

本年度の取組（ゴシック体は重点目標）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	中高一貫教育校にふさわしい教育課程の検討、授業改善及び学習指導の充実を図る。	「授業がわかる」と答える生徒の割合: 中部部 80%、高校 80%	A	A	生徒の学力格差があるなかで、中部部の「授業がわかる」生徒93%は評価できる。ICT やアクティブラーニングを導入した授業を参観し、わかりやすいと感じた。
		週5日以上家庭学習に取り組む生徒の割合: 中部部 80%、高校 80%	B	B	目標値を下回ったが、塾で勉強する子など加えているのか。評価方法を検討したい。
		校内演奏会、公開レッスン等実施回数: 年間計 12回 美術鑑賞、実技講習会等実施回数: 年間計 10回	A	A	新国立劇場でのオペラ鑑賞など一流の芸術を体験することは、感受性の高い生徒の成長に意味がある。AOIでの演奏会は生徒が本物のステージに立つことで自信がつく。 美術の作品展でも生徒の案内や説明がよかった。
		芸術科を本校の特色として感じている生徒の割合: 80%	A	A	校内の美術の作品展示、音楽の校内演奏会も頻繁に行われており、生徒は特別な学校で学んでいると感じている。
イ	こころざしを育むための進路指導の充実を図る。	講演、講義等の回数: 年間計 7回	A	A	中部部でどのような講師を招いているのか関心をもった。
		中学: 学力到達度調査(中3の評価A以上を27%以上) 高校: 国公立大学実合格率(普通科38%以上)、芸術系大学実合格率(芸術科70%以上)	B	A	中3生の学力は伸びており、進路実現が期待できる。 高校は、3年部主体で熱心に指導に取り組んでいる。
ウ	中高が連携し、効果的な生徒指導を推進する。	年間の交通事故件数: 中部部・高校ともに前年度比半減	B	B	事故件数は減っているが生徒の交通マナーはどうか。目標は本来、事故ゼロであるべき。生徒の危機管理能力育成を含め指導を継続したい。
		「信頼できる先生がいる」と答える生徒の割合: 中部部70%、高校 70%	B	B	信頼できる先生がいる生徒が7割近い現状は評価できる。ネットにつながる時代であり、教員だけに頼らなくてもいいのではないかな。
		「自分には良いところがある」と答える生徒の割合: 中部部70%、高校 70%	B	B	自己肯定感を高めることは大事。ボイスシャワーの実践をどう取り組むかが課題。ほめられた体験が生徒の自信につながる。

		「相談室だより」及び「教員向け相談室通信」発行:年間計 10回	B	A	生徒支援は現状でよい。教員の仕事は大変で精神的サポートが大事。「通信」でなくても気楽に相談や助言ができるしくみが必要。
		「学校に相談できる人がいる」と答える生徒の割合:中等部 80%、高校 80%	B	B	先出「信頼できる先生がいる」という質問と内容が似る。
エ	学校行事、生徒会活動、部活動等の充実を図る。	部活動に一生懸命取り組む生徒の割合:中等部 90%、高校 80%	B	A	中学生の目標90%は高い。現状の数値でも十分取り組んでいる。
		海外研修(中三、高二)で「充実している」と答える生徒の割合:中等部 90%、高校 90%	A	A	海外研修は充実しており、生徒の満足度も高い。
		地域に目を向けた教育活動の実施:年間5回	A	A	地域に対しボランティアでかかわることは大事。新聞報道等でほめられることで生徒は意義を感じる。
		「学校が楽しい」と答える生徒の割合:中等部 80%、高校 80%	B	B	質問が漠然としていて、高校で満足度が下がる背景が見えてこない。アンケート実施のタイミングにも左右されるのでは。
オ	開かれた学校づくり、安心・安全の学校づくりを推進する。	土曜オープンスクール参加者数:年間1,800人 ホームページアクセス:年間300,000件	B	A	ホームページへのアクセス数は満足できる数字。南高を報じた新聞記事も見かけることが増えた。
		PTA 総会出席率:50% (中高共通) 学年保護者会等の開催に対する満足度:70%	B	B	PTA総会の出席率伸び悩みの背景には学校の立地と駐車場が十分でない事情がある。グラウンドに駐車させるなどの工夫が必要だ。
		実践的な防災訓練実施:年間3回 地域防災訓練参加率:中等部 70%、高校 35%	A	A	生徒の地域防災参加率は高い。海に近い学校として、今後も危機感をもって取り組みたい。
		委員会:年間 3回開催 講話:年間 5回実施	B	B	コンプライアンスの対象範囲は業種によっても異なる。教員としての違反を知らしめることが必要。
カ	事務関係業務の見直しと改善を図る。	学校経営予算の執行残:10万円未満	A	A	目標設定はどうか。「使い切ればいい」は古い価値観。どう効果的に使ったかを評価したい。